

サンダーソフトのAVP 自動バレーパーキング連携システムは、ユーザー体験を重視したオープンなIoT システムであり、スマート車両、駐車場のスマートデバイス、クラウド、ユーザーなどにリンクできる。インテリジェントコネクテッドカーに接続するエコシステムとして様々な応用サービスを生み出し、都市のスマート交通サブシステムとして、ユーザーのラストワンマイルのパーキング問題を解決する。パーキングデバイスのセンサーなどのハードウェア設備を設置し、場内にある物に対してAVP 全プロセスのコマンドと監視が実行され、車両の駐車とユーザーへのデータ転送を行う。

ドライバーがパーキングエリアに到着後、携帯アプリのワンキーパーキング機能を使えばその後のことは気にせず離れることができる。

駐車場で通信が行われ、カメラが車両の位置を捉え、その情報をプラットフォームに送信する。パーキングデバイスのアルゴリズムを通じて駐車位置のルートが決められる。

車両が進行中に障害物に遭遇した場合、それを回避または迂回する。車両がルートを逸脱した場合は、補正アルゴリズムが実際の状態に応じてルートを調整し、車両が指定された駐車スペースにスムーズに到着できるようにする。

ドライバーは携帯アプリのワンキーパーキング機能で指定した場所に車を事前に呼び出すことができ、車を探したり、待ったりする手間から解消されます。車両をパーキングデバイスからの指示により自動で駐車スペースから移動させ、決められたルートで動かすことができる。横断中の歩行者に遭遇した場合は、緊急ブレーキをかけて回避する。指定位置に到着

後、車両は運転状態に切り替わりドライバーが来るのを待つ。

ThunderSoft AVP により駐車時の不安と煩わしさは解消され、ユーザーは手軽に楽しい時間を過ごすことができる。

駐車不安を解消し、楽しい時間が楽しめる

駐車位置の予約

ユーザーの旅程

パーキングエリア

ワンキーパーキング

AVP による駐車スペースへの入庫

洗車予約

充電予約

ワンキー充電

ワンキー洗車

ワンキー配車

AVP ユーザー

APP/ミニプログラム

AVP クラウド

各種マップ

クラウド プラットフォーム

AVP エリア

パーキングデバイス設備

パーキングプラットフォーム

AVP 車

TSP クラウド

ライダー

スイッチ

駐車スペースカメラ

コア スイッチ

サーバ

セキュリティゲート

ワンキーパーキング

ナンバープレート自動認識

認識率 > 99%、正常率 98%

パーキング内通信

低遅延のエンドツーエンド通信機能(<150MS)

パーキングデバイスセンサープログラム

ルート計画

スケジューリング戦略

障害物認識定位

経路再計画による障害物の自動回避を実現

一般的な屋内通行物認識サポート：自動車、非自動車、歩行者、その他の障害物（コーン、

ショッピング カート、動物)パーキングデバイス視覚定位リアルタイムアルゴリズム

定位精度： $\leq \pm 20\text{cm}$

補正アルゴリズムリアルタイム調整

ワンキー出庫

車を探したり、待ったりする手間からの解消

歩行者の自動回避

障害物の識別